



天皇盃第24回全国男子駅伝大会！千葉は全国14位！ 区間優勝者とジュニアA優秀選手賞を獲得！

第24回ひろしま男子駅伝

天皇盃第24回全国都道府県対抗男子駅伝大会は、2019年1月20日平和記念公園前を発着点に宮島を折り返し点にした7区間48キロのコースで行われました。大会には、来る東京五輪の日本代表候補選手を含む中学、高校、大学、社会人の陸上中長距離界代表選手達が集い、故郷の想いをたすきに沿道の声援を受けて熱走しました。

「優勝を狙える陣容」との評判に期待がかった千葉県チーム（滝田輝行監督）は、スタートからトップ集団に入り、見事なたすきリレーで最終7区まで終始上位をキープしましたが、今一歩及ばず惜しくも14位でした。



第5区走者の佐藤一世選手（八千代松陰高校）は、「区間優勝者」と「ジュニアA優秀選手賞」で見事に表彰されました。

大会終了後、広島千葉県人会主催で、選手団への慰労と激励の「ごくろうさん会」が市内リーガロイヤルホテルにおいて開催されました。広島千葉県人会は、会員一同で、18日の選手お出迎え、19日の開会式、20日のふるさと広場、選手応援、ごくろうさん会と3日間にわたり熱い熱い応援をしました。

恒例のビールの会

平成30年7月14日にビールの会がリーガロイヤルホテルにて19名（新入会員4名）の参加で開催されました。はじめに大曾根会長から、この度の豪雨災害被災者へのお見舞いの辞から始まり千葉県人会創立20周年記念行事の来年開催、検討中のユニホームの新デザイン紹介、次回駅伝応援とチーパ君の受け入れ方等の報告・説明があり、新入会員が紹介されました。

続いて君塚事務局長の発声で、会員一同安全と健康を祈念して乾杯、懇親に入りました。所によつては二次災害が予知される状況下なので、「近況報告」でもこの度の災害に関わる話題が多くなり、無事であったことへの感謝と被災地の1日も早い復旧を祈念する声が多く寄せられました。

平成30年度総会・懇親会

平成30年12月1日に定期総会が懇親会を兼ねて、23名（内新入会員3名再入会員1名）の会員の参加で、市内リーガロイヤルホテルで開催されました。君塚事務局長から事業会計が報告、承認された後、引き続き開催された懇親会では、大曾根会長挨拶で、県人会発足20周年の記念行事構想の説明や、30年度第3位という史上最高の好成績を上げたひろしま駅伝について、来春は更なる成績になるよう、県人会員一丸となって応援することなどが語られました。

